

The KeMCo Review 執筆要領

慶應義塾ミュージアム・commons 編集委員会

2022年4月28日作成

本執筆要項は、慶應義塾ミュージアム・commonsの論文誌「The KeMCo Review」に投稿する論文および研究ノートの執筆に関して定めています。

「The KeMCo Review」が想定する読者は、本誌の対象領域に関心を持つ研究者・専門家・学生・一般読者です。読者の関心に応えるとともに、議論の活性化と深化に資するよう、学術論文としての記述方法を保ちながら、分かりやすい構成と表現をご工夫ください。また、編集委員より、語句や表現などについて修正をご提案させていただくこともありますので、あらかじめご了承ください。

原稿の形態

- ・ 原稿はA4判で、原則として横書きで組版されます。
- ・ 専用の原稿テンプレートを使用し、MS-Wordのファイルと、PDFファイルを提出してください。
- ・ 図表ファイルは、隅付き括弧で図表番号を示し、本文中には挿入しないでください。
- ・ PDFファイルは、書体や特殊文字などを確認するために使用します。

表紙の要素

- ・ 1ページ目を表紙とし、下記の内容を日英両文で記してください。
 - ・ タイトル、サブタイトル（必要な場合）
 - ・ 著者名と所属
 - ・ 著者連絡先（住所、電話番号、E-mail。複数著者の場合は、連絡担当者に*印をつけてください）
 - ・ アブストラクト：和文400字以内、英文200語以内
 - ・ キーワード：3～5つのキーワード

本文とその他の要素

- ・ 2ページ目から、本文、注、参考文献、図表リストを記してください。
- ・ 本文、注、参考文献は、原則として和文で20,000字、英文で10,000語までに収めてください（図表と図表リストを除く）。

図表

- ・ 図表は、15点までとします。図表には通し番号を振り、隅付き括弧で示してください。Wordファイルの本文中に図表ファイルを挿入しないでください。

（例）東別館の中央階段から確認できる、オープン・デポ【1】では・・・

- ・ 通し番号、タイトル（必要な場合）、出典や著作者情報の一覧を、本文末尾にまとめ、図表リストとして記載してください。出典の表記は、参照文献の表記方法に従ってください。
- ・ （例）1. オープンデポ、撮影：慶應義塾ミュージアム・コモンズ
- ・ 投稿規程 5-2 を参照の上、図表の使用・掲載に関わる権利処理は、著者が行ってください。
- ・ 印刷用データとして、図表の高精細データ（解像度 350dpi 程度、カラー）をフォルダにまとめて提出してください。データの形式は、EPS もしくは JPEG のいずれかとし、ファイル名は、通し番号と一致させてください。
- ・ 図表は、紙媒体ではグレースケール、電子媒体ではカラーで掲載されます。採録決定後、グレースケールデータの提供を依頼します。

注と参考文献

- ・ 注は後注とし、() 内に入れ、句読点の前に記してください。＊の後に通し番号をつけてください。

（例）慶應義塾大学東別館（＊1）の3階にある KeMCo の展示室では・・・

- ・ 本文および注内で参考文献を参照する際は、著者名・発行年形式（著者名 出版年：該当ページ）で記載してください。
- ・ 参考文献のリストは、原則として、日本語の場合は「科学技術情報流通技術基準 参考文献の書き方」(SIST 02)、その他の言語の場合は Chicago Manual of Style に準拠して作成してください。著者名・発行年の順に記し、注の後に一括して入れてください。

校正

- ・ 採録が決定した Word の最終原稿を元に、編集部が誌面のレイアウトを行います。
- ・ 著者による校正は原則 1 回とします。